

## GeneXpert® Dx 6.2 ソフトウェア リリースノート

本書には、GeneXpert Dx システムの取扱説明書に記載されていない新しい情報、既知の制限および説明が含まれています。

### 注意：

Cepheid社では、GeneXpertまたはホストシステムに以下のような変更(これらに限らない)を加えた場合、検査室情報システムにアップロードされた結果がGeneXpertのテスト結果と一致することを確認するよう推奨します：

- GeneXpertソフトウェアバージョン
- GeneXpertアッセイの定義バージョン
- GeneXpert Host Communication Settings (ホスト通信の設定)
- ホストのミドルウェアソフトウェアまたは設定の変更
- 検査室情報システムソフトウェアまたは設定の変更

## 1 テストを作成

- 1.1 「テストを作成 (Create Test)」ダイアログボックスの「患者ID (Patient ID)」または「サンプルID (Sample ID)」フィールドをすでに入力済みの場合は、本フィールドにバーコードをスキャンしないでください。本フィールドを入力後にバーコードをスキャンすると、無効な文字がスキャンされてしまいます。「患者ID (Patient ID)」または「サンプルID (Sample ID)」フィールドを更新するには、「テストを作成 (Create Test)」ダイアログボックスを閉じ、再度「テストを作成 (Create Test)」を選択したら、IDバーコードをスキャンします。
- 1.2 GX Dx 4.6以降は、BA 4プレックスおよびBG デュプレックスアッセイの組み合わせはサポートされません。

## 2 メンテナンス

テスト中にプランジャーメンテナンスを行わないでください。テスト中およびメンテナンスを完了させるために(シリンジロッドが上昇)プランジャーメンテナンスを実行中のモジュールが利用できない(シリンジロッドが低下)間にプランジャーメンテナンスを開始した場合、テストが完了した後にGeneXpert Dxソフトウェアを再起動させる必要があります。

## 3 ローカライズ

GeneXpertソフトウェアをロシア語設定で実行している場合は、ファイル選択ダイアログがロシア語に翻訳されたものではなく英語で表示されるものもあります。対象のダイアログは「テストをアーカイブ (Archive Test)」中の「保存 (Save)」ダイアログ、「テストを検索 (Retrieve Test)」中の「開く (Open)」ダイアログ、「データベースの復元 (Database Restore)」中の「データベースのバックアップ (Database Backup)」ダイアログと「ファイルを選択 (Select File)」ダイアログです。

## GeneXpert® Dx 6.2 ソフトウェア リリースノート

存在しない翻訳は以下の通りです：

- 「中を見る (Look In)」 - “Найти в”
- 「ファイル名 (File Name)」 - “Имя файла”
- 「タイプのファイル (Files of Type)」 - “Тип файлов”
- 「キャンセル (Cancel)」 - “Отменить”
- 「開く (Open)」 - “Открыть”